

第5回 2月26日（水）学校運営協議会

☆ご質問、ご意見をいただいたこと

- 「そう思う」が1学期から2学期にかけて全体的に減少している。どうしてこのような結果になっているのか。
- 学年ごとの傾向を出してみると、分析できるかもしれない。
- 1学期から2学期で確かに青のグラフが短くなってるように感じる。どうしてだろうか。校長）1学期は集団を作る段階。2学期は、仲良くなったところで人間関係のトラブルも発生してくる。学習については、回を重ねるごとに難しくなっていく。自分と向き合うようになってきたことで、回答が自分に厳しくなっているところもあると思う。
- 毎年同じアンケートをしていると思うので、経年で変化を見ていくことも必要ではないか。
- 以前、人権の研修会で「小学校2年生がいじめが多くなる」という統計結果があることを聞いたが、本校ではどうなのか。校長）1年生は保小連携を丁寧に行っていて、人間関係を大事にしてスタートをしている。2年生に進級して、学年が上がってくることによって関係が変化してくることがある。2年生だけに限らず、中学年は自己主張が強くなる時期で、高学年では思春期になり、他者と自らの違いについて考えたり、小グループを作ったりするようなことがあり、そこでのトラブルも考えられるので、一概に2年生が多いとは言えないと感じる。
- 保護者のアンケート結果は、現場で見ている訳ではないが、評価が厳しいと思う。いずれにしても、保護者の回答結果よりも、児童の回答結果が肯定的な見方で上回っていることは良いことで、子どもたちが頑張っていると感じた。
- 夏休みの公民館開放で先輩たちが「辞書ですぐに調べるな。最初は自分で考えてみな。」と下級生に指導していた。大事な教えだと思う。また、相手を思いやる気持ちが優れていると感じた。聞き上手はとても大事なことだと思う。
- 子どもの質問項目と保護者への質問項目が同じだと意味のある学校評価にならないのではないかと。保護者に対しては、もっと突っ込んだ部分を聞いた方が実りのあるものになるのではないかと。例えば参観日の日程やPTAの活動について尋ねるなど。
- 1学期からのダウンはぜひ検証してほしい。特に「学校は楽しい」については、毎学期肯定的な回答が上がってほしいと思う。先生方が「学校が楽しい」と思っているか。そう思っていないと、子どもたちに「学校が楽しい」と伝わらない。また先生が授業を楽しんで行っているか。
- 校長）授業のことで言うと、テストで見える部分はわかるが「子どもたちは、今日一生懸命考えていたか。」という視点が大事だ。わかるかどうかより、授業が楽しいか、考えて楽しい授業になっているか。そこを大事に考えていきたい。宿題も、作業のようになっていないか。学びとなっているか検証していきたい。
- 困っているときに仲間に声をかける子どもたちが育っていて、思いやりがあることがすごいと感じた。

☆ 今年度の活動と来年度に向けてで、ご意見をいただいたこと

- 来年度、行いたいことについては、ボランティアの募集を地域に広めていく。回覧板や学校だより等で知らせてはどうか。北中学校では回覧板で「募集中」と回ってくる。ぜひそのようなふうにしたら良いのではないかと。全県下の人材バンクにあたってみることもできる。公民館の講師名簿も参考になる。
- 「学校が楽しい」の回答は、右肩上がりになっていくようにしたい。楽しい学校にしていきたい。
- ミシンボランティアをしている仲間がいるが、どのぐらいの頻度で来ていただくのかを伝えることが大事だと思う。重荷にしないようにしたい。
- インパクトのあるチラシを作って、回覧板に載せる。またチラシを拡大して、ポスターとして公民館などに掲示して広く目につくようにする。別荘の人たちは、ヨガスクールに通ってくる人が多いので、その方々にも知らせていきたい。

多くの建設的なご意見をいただきました。今後の学校運営に生かしてまいります。